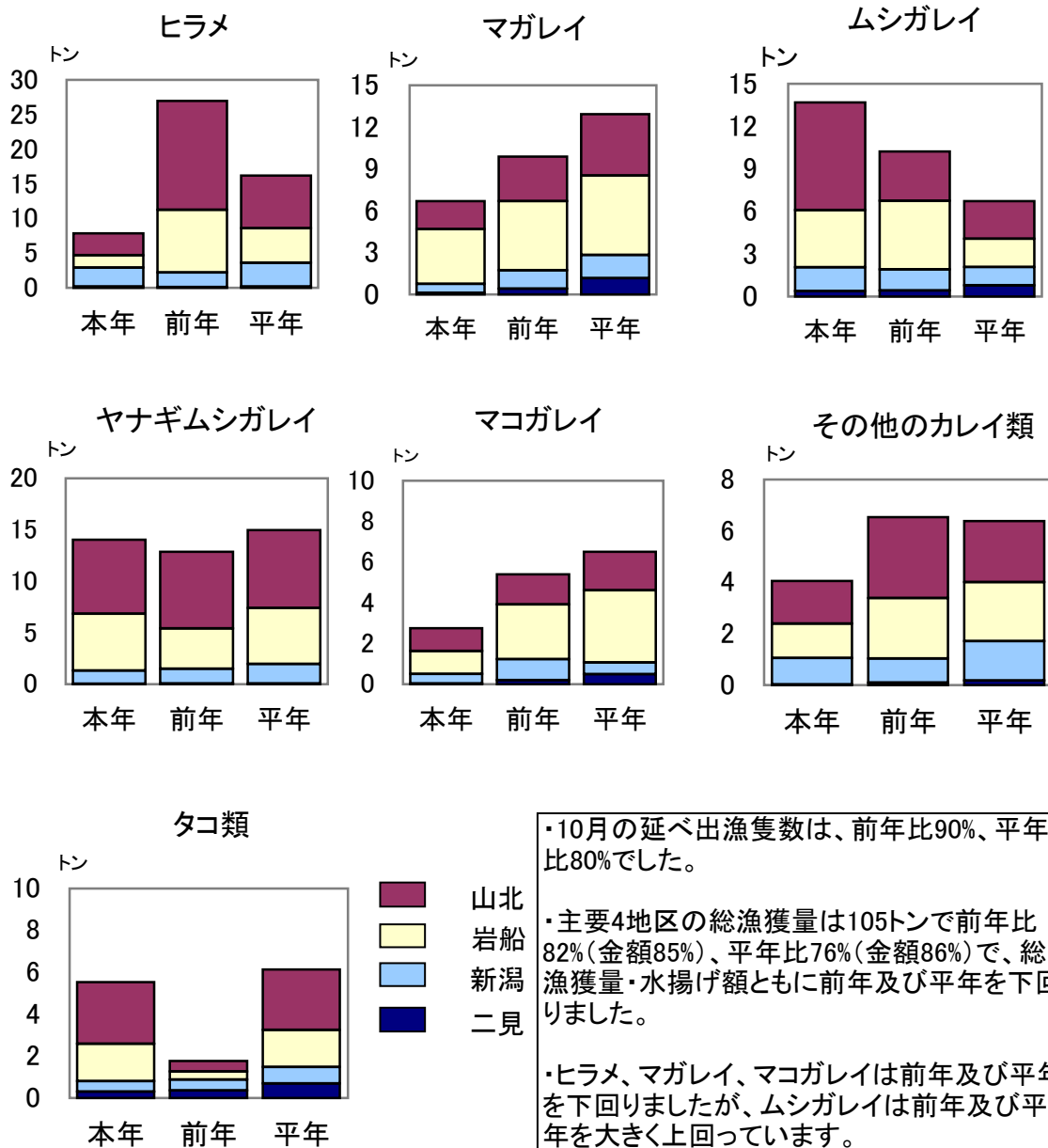


◎板曳網 新潟県内主要地区の水揚量(平成21年10月分)

単位:トン

地区	魚種	ヒラメ	マガレイ	ムシガレイ	ヤナギムシガレイ	マコガレイ	その他のカレイ	タコ類
山北町		3.19	2.01	7.60	7.20	1.13	1.65	2.94
岩船		1.76	3.93	4.02	5.51	1.13	1.34	1.78
新潟		2.72	0.65	1.69	1.30	0.48	1.03	0.51
二見		0.19	0.11	0.38	0.02	0.02	0.03	0.30
計		7.86	6.70	13.69	14.03	2.76	4.05	5.53
前年		26.94	9.89	10.22	12.86	5.40	6.54	1.77
5年平均		16.18	12.93	6.72	14.97	6.51	6.38	6.14



・10月の延べ出漁隻数は、前年比90%、平年比80%でした。

・主要4地区の総漁獲量は105トンで前年比82%(金額85%)、平年比76%(金額86%)で、総漁獲量・水揚げ額ともに前年及び平年を下回りました。

・ヒラメ、マガレイ、マコガレイは前年及び平年を下回りましたが、ムシガレイは前年及び平年を大きく上回っています。

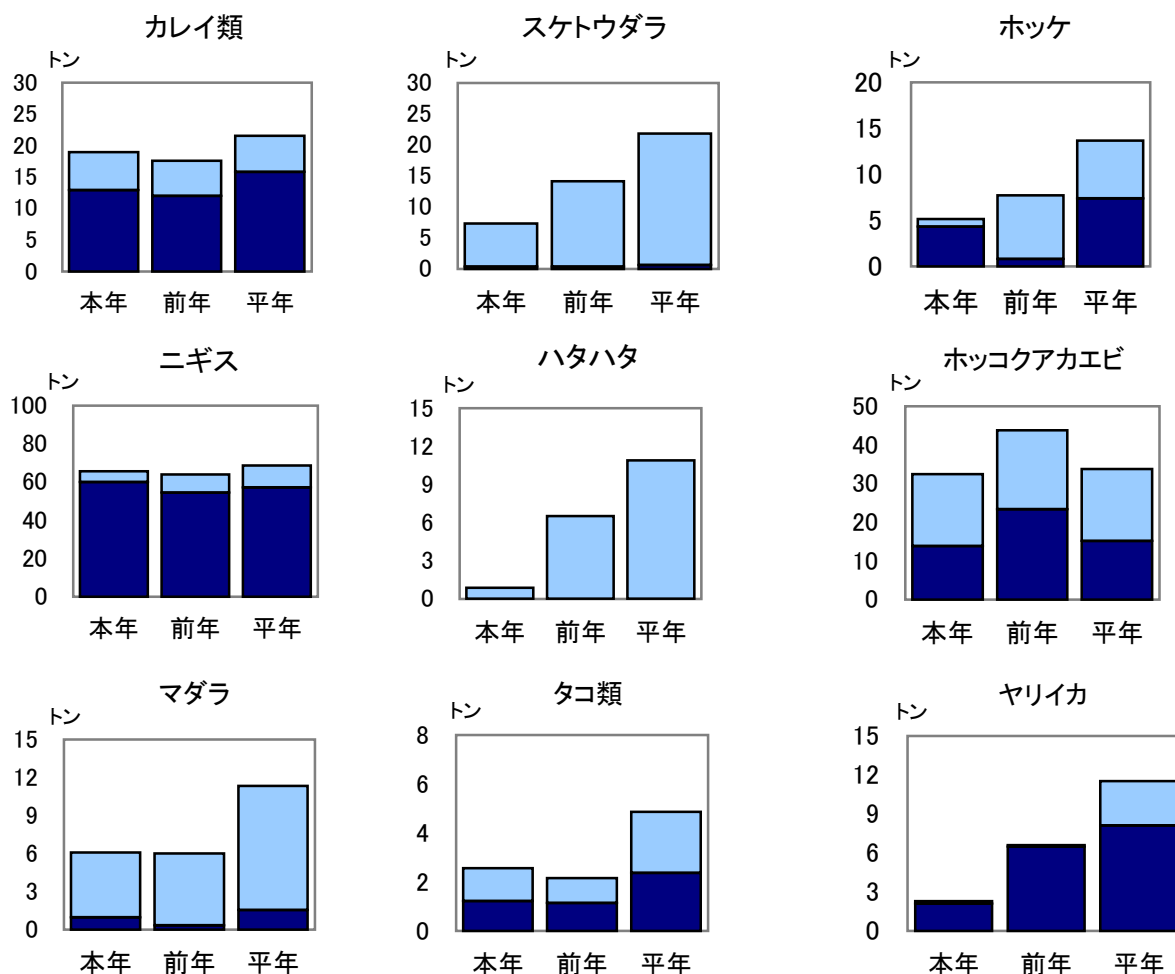
・前年、県北部海域で不振であったタコ類は、9月に続き平年並みとなりました。

◎底曳網等 新潟県内主要地区の水揚量（平成21年10月分）

単位：トン

地区	カレイ類	スケトウダラ	ホッケ	ニギス	ハタハタ	ホッコクアカエビ	マダラ	タコ類	ヤリイカ
山北町	3.19	3.78	0.37	2.47	0.51	0.46	2.75	0.76	0.07
岩船	1.89	2.35	0.43	1.65	0.34	0.08	1.42	0.34	0.07
新潟	0.96	0.86	0.01	1.66	0.02	18.09	0.96	0.25	0.03
出雲崎	6.15	0.30	0.34	8.56	0.00	0.00	0.31	0.59	0.19
名立	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.37	0.00	0.01	0.00
筒石	5.58	0.01	2.31	33.25	0.00	0.07	0.61	0.50	1.82
能生	1.14	0.03	1.66	18.16	0.00	6.89	0.04	0.09	0.10
糸魚川	0.07	0.01	0.01	0.00	0.00	4.50	0.00	0.03	0.00
計	18.98	7.34	5.13	65.75	0.87	32.46	6.09	2.57	2.28
前年	17.57	14.16	7.71	64.03	6.52	43.83	6.00	2.16	6.59
5年平均	21.57	21.85	13.68	68.69	10.89	33.76	11.33	4.87	11.53

■ 山北町～新潟 ■ 出雲崎～糸魚川



・10月の延べ出漁隻数は、前年比92%、平年比78%でした。
 ・主要8地区の漁獲量は245トンで前年比89%（金額92%）、平年比77%（同83%）となり、漁獲量・水揚げ額ともに前年及び平年を下回りました。
 ・ホッコクアカエビ、ニギスはほぼ平年並みですが、期待されたハタハタは解禁後、県北部海域に漁場ができず、不振となりました。
 ・その他の魚種（全漁法）では、アカガレイが前年比77%、マダイ79%、アカムツ183%、アンコウ98%となり、アカムツは平成19年生まれ（満1歳）の小型魚が県北部海域で多く漁獲されています。

漁海況情報 (漁況)

発行
新潟県水産海洋研究所
新潟市西区五十嵐3の町13098-8
TEL:025-261-2044

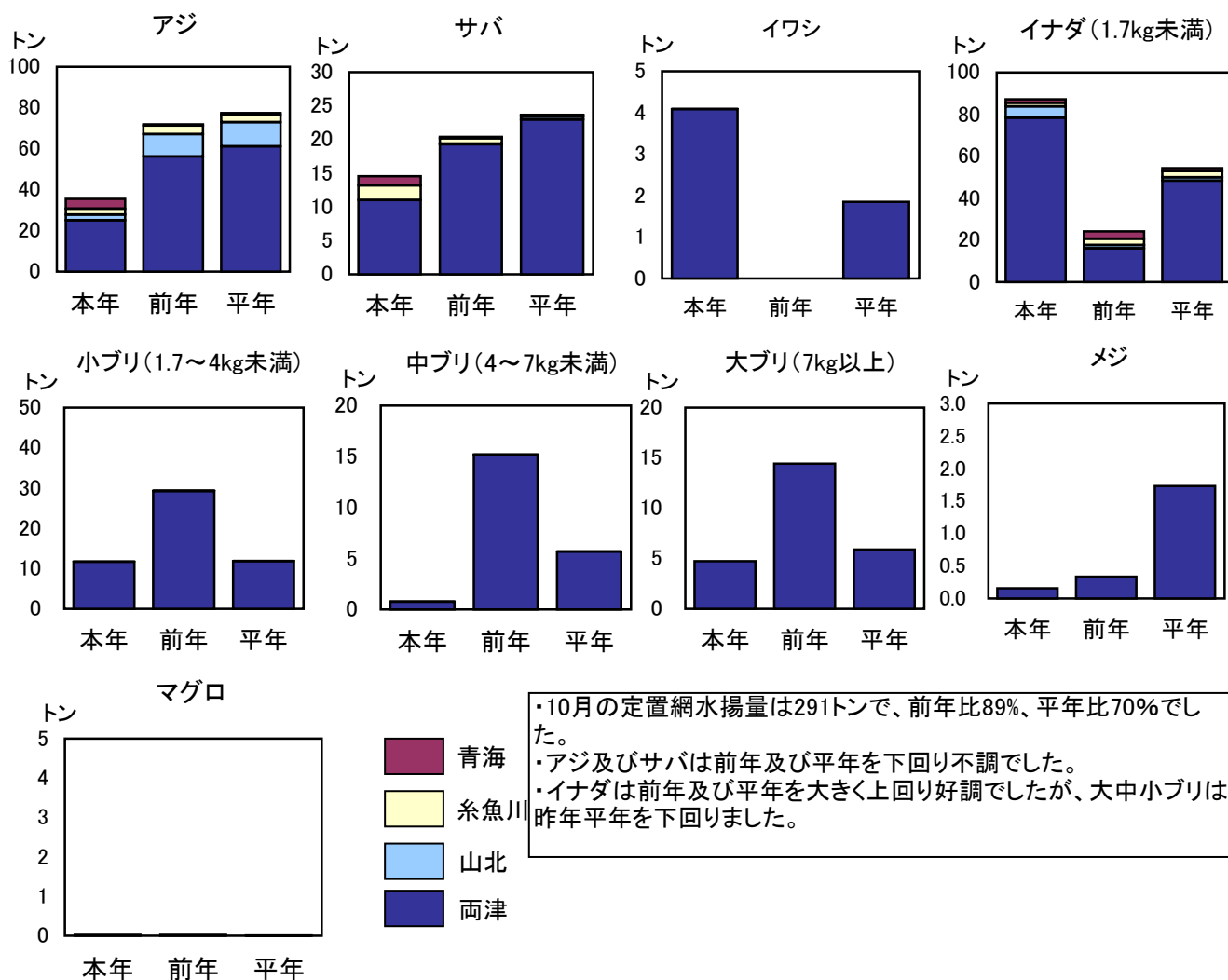
第451号 平成21年11月発行

◎定置網 新潟県内主要定置網の水揚量(平成21年10月分)

単位:トン

魚種 地区	アジ	サバ	イワシ	イナダ	小ブリ	中ブリ	大ブリ	メジマグロ	マグロ
両津湾	25.1	11.0	4.1	78.4	11.7	0.8	4.8	0.2	0.0
山北	2.8	0.0	0.0	5.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
青海	4.8	1.3	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
糸魚川	2.8	2.2	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計	35.4	14.5	4.1	87.2	11.8	0.8	4.8	0.2	0.0
前年	72.0	20.4	0.0	24.2	29.4	15.2	14.4	0.3	0.0
5年平均	77.4	23.7	1.9	54.3	11.9	5.7	5.9	1.7	0.0

魚種 地区	シイラ	サケ	サクラマス	スルメイカ	ヤリイカ	マダイ	ヒラメ	その他	計
両津湾	9.8	0.7	0.0	0.2	0.0	2.9	0.0	51.1	200.8
山北	0.1	37.2	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	0.1	51.3
青海	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	12.8	22.1
糸魚川	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	3.1	16.4
計	9.9	45.4	0.0	0.2	0.0	3.4	5.7	67.2	290.6
前年	78.2	35.1	0.0	0.1	0.0	3.2	0.3	35.2	328.0
5年平均	36.4	71.3	0.0	0.5	0.0	2.6	0.3	123.1	416.8



・10月の定置網水揚量は291トンで、前年比89%、平年比70%でした。
 ・アジ及びサバは前年及び平年を下回り不調でした。
 ・イナダは前年及び平年を大きく上回り好調でしたが、大中小ブリは昨年平年を下回りました。

◎旋網(平成21年10月分)

単位:トン

港	魚種	アジ	サバ	イワシ	イナダ	ブリ	その他	合計
新潟		117	24	0	1	0	3	145
柏崎		0	0	0	0	0	0	0
寺泊		0	0	0	0	0	0	0
計		117	24	0	1	0	3	145
前年		322	426	1	516	6	91	1,364
5年平均		160	430	7	122	2	25	746

・10月の水揚げは前年比11%、平年比19%でした。
 ・水揚げが大きく減少した一因として、大型クラゲの影響を回避するため、本県沖合い域での操業が見合わされたことが考えられます。

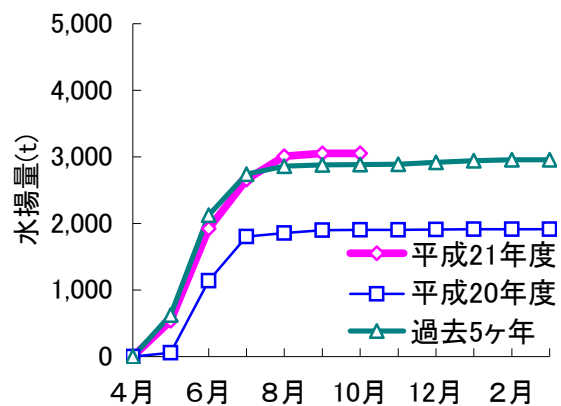
◎イカ釣 県内主要地区の水揚量(平成21年10月分) 単位:トン

地区	隻数	水揚量
山北町	0	0
新潟	0	0
両津	8	0
計	8	0
前年	20	5
5年平均	35	6

隻数:操業した延べ隻数

・10月の主要3港での水揚げは0.4トンで、前年比8%、平年比7%でした。

スルメイカ(生)累積水揚量の推移



◎大型クラゲ情報

分布の先端は北海道や三重県まで達しています。11月に入って、本県各海域でも大量に出現しており、定置網、底引き網、刺網等では操業に重大な支障を来しています。過去の事例から、11月が出現のピークと思われるので、今後とも十分ご注意ください。また、水温の低下と共に、活性を失った個体が底層に滞留することが予想されます、合わせてご注意ください。なお、詳細な情報については、別途お知らせします。

◎近県の漁況・・・カッコ内の数字(%)は前年同月比(石川県は前年同旬比)

山形県(10月)

刺網:ヒラメ2.4トン(277%)、延縄:サワラ30.7トン(160%)、タイ類2.9トン(64%)、採貝藻:サザエ11.6トン(108%)、底びき網:スケトウダラ77.8トン(71%)、ホッケ6.8トン(7%)、マダラ37.7トン(86%)、ホッコクアカエビ25.4トン(99%)、ハタハタ10.6トン(78%)、アンコウ10.6トン(72%)、ズワイガニ10.8トン(150%)
 定置網:ブリ類7.7トン(42%)、サケ:85.4トン(198%)、アジ9.1トン(145%)、ごち網:タイ類11.1トン(85%)、船凍いか釣り漁業:382.0トン(86%)

富山県(10月)

カタクチイワシ(定置網、八艘張網):81トン(100%)、アジ(定置網、八艘張網、漁船漁業):246トン(243%)、ブリ、ガンド(定置網、漁船漁業)2トン(75%)、フクラギ(定置網、八艘張網、漁船漁業)181トン(53%)、サワラ(定置網、八艘張網、漁船漁業):90トン(163%)、シロエビ(漁船漁業):50トン(94%)、カマス(定置網、八艘張網)151トン(37%)、ソーダガツオ(定置網、八艘張網、漁船漁業)488トン(367%)、ベニズワイ(漁船漁業)104トン(119%)、サケ・マス類(定置網、八艘張網、漁船漁業)61トン(374%)、アオリイカ(定置網、八艘張網、漁船漁業)58トン(77%)

石川県(11月上旬)

定置網:アジ187.0(202%)、ブリ29.9トン(2312%)、フクラギ50.2トン(79%)、サワラ23.0トン(114%)、サバ32.0トン(1115%)
 刺網:ウマヅラハギ6.1トン(369%)、ウスメバル7.3トン(9713%)、アマダイ類1.7トン(651%)、まき網:フクラギ28.33トン(41%)、アジ34.8トン(211%)、底びき網:マダラ17.3トン(354%)、アカガレイ11.8トン(76%)、ズワイガニ♂48.0トン(113%)、ズワイガニ♀76.1トン(88%)、アンコウ1.3トン(172%)